

群馬用水改築 岩本予備取水口  
水位計移設工事  
(オープンカウンタ方式)

仕様書

令和7年3月

独立行政法人水資源機構

群馬用水管理所

## 第一章 総則

### 第1節 適用

この特記仕様書は、独立行政法人水資源機構(以下「機構」という。)が施行する群馬用水改築 岩本予備取水口水位計移設工事(以下「本工事」という。)に適用する。

### 第2節 工事場所

群馬県沼田市岩本町 57-2 岩本予備取水口

### 第3節 工事の内容

#### 3-1 工事内容

本工事は、岩本予備取水口に設置している圧力式水位センサーを新設する保護管に移設するものである。

#### 3-2 工事数量

水位計移設	1 式
水位計調整	1 式
保護管設置	1 式
材料	1 式
保護管の溶接作業	1 式
保護管の穴開け作業	1 式

### 第4節 工期等

#### 4-1 工期

1. 工期は、雨天・休日等 39 日を見込み、令和 7 年 4 月 1 日から令和 7 年 6 月 30 日までとする。

なお、契約日が令和 7 年 4 月 1 日以降となった場合の工期は契約締結の翌日から令和 7 年 6 月 30 日までとする。

また、休日には、日曜日、祝日のほか、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数以外に次の日数を見込んでいる。

準備期間	30 日
後片付け期間(後片付け、契約変更手続き期間等)	20 日
雨休率(実働工期日数に休日と天候による作業不能日を見込むための係数 実働日数×係数)	0.8
工事不可等作業不能日 令和 7 年 4 月 1 日から令和 7 年 6 月 30 日	39 日

※雨休率を算出した際の日換算した対象期間の作業不能日は以下のとおりである。

イ) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日：10日間

過去5か年(2019年4月～2023年6月)の群馬用水管理所地点のデータより算出

ロ) 雨休率は「休日」と「天候等による作業不能日」を重複して設定しない。

ハ) 後片付け期間を残して現場施工(仮設物の撤去等を除く)が概ね完了するよう努めるものとする。

2. 著しい悪天候や気象状況により「天候等による作業不能日」が工程(発注者積算)で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

#### 4-2 週休2日制適用工事

1. 本工事は、担当職員と受注者双方が工程調整を行うことにより、月単位の週休2日を達成するよう工事を実施する「現場閉所による週休2日制適用工事(発注者指定方式)」の試行工事である。
2. 週休2日の考え方は下記のとおりである。

##### (1) 週休2日

対象期間において4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

##### ①月単位の週休2日

対象期間内の全ての月において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

##### ②通期の週休2日

対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

##### (2) 対象期間

工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇9日間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間(受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など)は含まない。

##### (3) 現場閉所

巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

##### (4) 4週8休以上

対象期間内の現場閉所日数の割合(以下、「現場閉所率」という。)が、全ての月で28.5%(8日/28日)以上の水準に達する状態をいう。

なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

3. 担当職員は、受注者の月毎の現場閉所率の状況を適宜確認するものとし、受注者側の週休2日の取組状況が十分でない場合は、受発注者双方において要因を分析し、週休2日が確保できるよう改善に取り組むものとする。
4. 工事完了後、週休2日の取得結果が確認できる「取得報告書」を作成し、担当職員に提出するものとする。なお、取得報告書の様式は任意とするが、月単位の週休2日が確認できるものとする。
5. 週休2日に掛かる費用については、当初予定価格から月単位の週休2日（4週8休以上）を達成した場合の補正係数を労務費、土木工事標準単価、共通仮設費率、現場管理費率に乗じているが、現場閉所の達成状況を確認後、月単位の週休2日（4週8休以上）を達成していないものは、補正係数を通期の週休2日（4週8休以上）に変更する。その際、4週8休未満であった場合は補正係数を除した変更とする。

補正項目	通期の週休 2 日 ( 4 週 8 休以上)	月単位の週休 2 日 ( 4 週 8 休以上)
労務費	1. 02	1. 04
共通仮設費	1. 02	1. 03
現場管理費	1. 03	1. 05

受注者は、次に掲げる図書を作成し、機構に提出するものとする。

1. 保護管	ステンレス製 150Su 長さ 5.0m (等間隔に穴を複数開けること)	1 本
2. 脱落防止用丸棒	ステンレス製 SUS304 径 13.0×長さ 2,000mm 程度	1 本

## 第 7 節 既設圧力式水位センサーの仕様

- |               |                                            |
|---------------|--------------------------------------------|
| (1) 型式        | CPS-10-A (株式会社 拓和製)                        |
| (2) 測定範囲      | 0～10m                                      |
| (3) 検出方式      | 静電容量式                                      |
| (4) 精度        | ±0.1%FS                                    |
| (5) 出力信号      | 4～20mA、ハートプロトコル信号付き                        |
| (6) 動作電源電圧    | DC24V                                      |
| (7) 環境条件      | -10℃～+60℃                                  |
| (8) ケース材質     | SUS316L                                    |
| (9) 寸法        | φ 42.3×160mm                               |
| (10) 質量       | 1kg 以下                                     |
| (11) センサーケーブル | 構造 通気パイプ入り専用ケーブル<br>外径 約 φ 7.8mm<br>長さ 30m |

## 第 8 節 既設水位計コーダー仕様

- |            |                                                                                                                                                                        |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 型名     | PC-3000AI-01A (株式会社 拓和製)                                                                                                                                               |
| (2) 機能     | 1) 表示 7 セグメント LED 6 桁<br>2) 操作 6 キー<br>3) 処理機能 (a) 入力スケール変換 0～40.00m<br>(b) レベル加減算 -999.99m～+999.99m<br>(c) ホールド 上限/下限<br>(d) 平均演算 無し：連続(1 秒)<br>移動：1 分、5 分、10 分(2 秒毎) |
| (3) 動作電源電圧 | AC90～220V 50/60Hz                                                                                                                                                      |
| (4) 環境条件   | 周囲温度 -10～50℃<br>周囲湿度 30～90%RH                                                                                                                                          |

## 第 9 節 移設の内容

1. 河川協議の関係で、令和 7 年 4 月 1 日から令和 7 年 5 月 31 日までに現地作業を完了させるものとする。
2. 既設水質計の保護管の下流側に保護管を新設するものとする。また、保護管の底に

脱落防止用丸棒を溶接するものとする。

3. 既設水質計のプルボックスに穴を開けて圧力式水位センサーのケーブルを通し新設の保護管に収納し移設を行うものとする。

4. 移設後、圧力式水位センサーの調整及び動作試験を行うものとする。

#### 第 10 節 疑義等

受注者は、設計図書に明記されていない事項又は設計図書に疑義が生じた場合は、速やかに担当職員と協議するものとする。